
開講科目名：租税法研究III演習（4単位）

開設年次：2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：奥川 哲也

《授業の概要》

【授業の概要】

租税法研究?（演習）の授業は、税理士試験の免除資格（税理士法に定める「税法に属する科目等」に関する研究で国税審議会から認定を受ける）を得るにふさわしい租税法（国際租税法を含む）の基礎の習得から修士論文の作成までにわたり、判例研究及び発表・討議並びに研究テーマの選定及び研究発表・討議を行う。

【授業の内容】

租税判例につき、事前に実際の判決文、判例評釈や関連する論文等の自己学習を行ったものを、授業の場での発表・討議を通じてその理解を深め、修士論文の足場固めとする。

1. 1年生

?前期

テキストを4月中に通読し、各自が講義中に発表する判例を選び、事前にペーパーにまとめ事前配布したうえで講義に臨む。講義での発表・討議を行ったものはレビューを行う。この段階では選定する判例は、『租税判例百選（第5版）』や『ケースブック租税法（第4版）』を参考にする。

?後期

後期は前期よりもう少しレベルアップし、事前準備の段階では少なくとも論文1本以上、判例評釈2本以上を読み込んだうえで発表を行う。

2. 2年生

2年生においては修士論文のテーマの選定を早めに行い、選定したテーマに関する研究、発表、議論を行いながら、論文完成までを行う。

【評価方法】

出席とレポート及び修士論文により総合的に評価を行なう

《テキスト》

岡村忠生他2名『ベーシック租税法（第7版）』有斐閣

《参考書》

金子宏『租税法（第19版）』弘文堂

水野忠恒他4名『租税判例百選（第5版）』有斐閣

金子宏他3名『ケースブック租税法（第4版）』弘文堂

本庄資他2名『国際租税法 - 概論 - 』大蔵財務協会

その他必要に応じて指示する